

令和 7 年 2 月期 (第 98 回) 番組審議会 議事録

- 1 開催日時 令和 7 年 2 月 13 日 (木) 午後 7 時 ~
- 2 開催場所 京都府京丹後市峰山町丹波 825 番地の 1
NPO 法人京丹後コミュニティ放送 1 階事務所内
- 3 委員の出席 委員総数 6 名
出席委員数 6 名
中村基彦、安田秀俊、角江眞由美、中江学、岡村さおり、今田弘一
放送事業側 阿辻凜太郎 (局長代理)、小牧真人 (理事長)
出席者

4 開会

最近のおもな活動報告に続いて今後の活動予定の告知があった。

その後出欠確認と近況の活動報告がなされた

続いて、議長から議事録署名人に、中江学氏と岡村さおり氏に依頼し了承が得られた。
番組審議に入る。

5 審議番組

「ばんばらこのフォーク DE ないと」出演：ばんばらこ

1 月 30 日 (月) 12 時~13 時 30 分 放送分

番組説明のあと番組試聴があり審議審議があった。

審議での意見として、

(議長) 色々ご意見があると思います。女性は歯切れがよく男性は何を言っているのか意味不明な点が多々あったと思いますが？

(委員) 番組開始当初からこのような話し方だったのでは？男性のほうは普段からこのような話し方です

(議長) もうちょっと歯切れよく (男性の方が) 話さないと聞き手が内容が分かりづらいのでは？

(委員) 音源はダイジェスト版ですが番組を通して聴くと男性の方も結構話をされています

(委員) リクエストは結構来ているのか？

(局側) きています。普段のライブ活動でもリクエストを募っています

(委員) だいぶ聞きなれたので安定した喋りだと思います

(議長) 15 年も番組を続けていると話す内容もあまりないのでは、話のテーマなどは？

(委員) 女性の方の得意なフォークソングの話がメインなのは？

(委員) 女性の方は趣味のバイクやツーリングの話もされています

(議長) 放送時間は？

(局側) 本放送が月曜日のお昼 12 時から 2 時間、再放送が同日の夜 7 時からと木曜日の夕方 6 時からの計 3 回放送されます。「洋楽タイムカプセル」という番組と週ごとに交互に放送されます

(議長) リスナーのターゲットとはどこにあるのか？ということだが高齢者中心になるのだろうか

(委員) リスナーは固定層があるのでは？

(局側) ほぼそうなります

(議長) 番組の内容が気に入らなくて途中で切るような人がいいないのであれば番組自体良しとすればいいのだろう

(委員) この番組にこれまでゲスト出演はあったのか？

(局側) ごくたまにあります

(議長) ゲスト出演があると番組の進行が難しいのでは？番組内容に変化が出るのはいいとは思いますが

- (委員) 番組が2時間もあると選曲や話題のチョイスが大変そうだ
(委員) 男性の方の掛け声をもっとあればいいのでは
(委員) 女性のほうが話すのに積極的なのをたいして男性の方がその後を追う形になっている
(議長) もっとメリハリのあるトークにしたほうがリスナーも聴きやすく女性の方のトークも活きてくるのでは

その他の番組について、以下の意見が述べられた

- (委員) 「みんなのたんご」について番組内容を意識して丹後弁を意識的に使っているが、話し方によって耳につくので普通に話すほうが内容を理解できるように思える
(議長) 丹後弁は対外的に見て発音が汚い、イントネーションが違いすぎる印象があり同じ丹後人として聞いていて恥ずかしくなることがある、若い人が聴くとどういった印象を持つだろうか？
(委員) 番組中の丹後弁は今の日常とは違い昔の方言が使われている
(議長) 昔の方言を使用すると今の親子には理解されない
(委員) 最近使われなくなってきているので余計にそのような印象になる
(委員) わざとらしく取ってつけたように(丹後弁を)使っている感じが気になった
(委員) サイマル放送の音声レベルが他局に比べて全体的に低い気がする
(委員) 「みくばたけの道端ぴーちくばーちく」のパーソナリティのトークが以前の番組(「どろんこわっしょい」)よりも聴きやすくなった

以上、閉会となる

審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日
担当からパーソナリティに対し意見の内容を伝えた

審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、放送及び年月日

- ① 令和 年 月 日 () 当局事務所内に掲示
② 令和 年 月 日 () 「たんご・モーニング・サンド！」
番組内において放送
③ 当局ホームページ <http://fm-tango.jp/> に掲載

その他参考事項
特になし

令和 7 年 2 月 13 日

上記のとおり相違ないことを確認する。

署名人

岡村さおり



署名人

中江 学

